

# 改正FIT法でO&Mが義務化、 信頼される業界に！

株式会社エナジービジョン

代表取締役 奥山 恭之



新年明けましておめで  
とございます。

ビジネスは激動の時代を  
迎えます。

2017年は、太陽光  
発電のO&M（オペレー  
ション&メンテナンス）

4月に施行される改正  
FIT法により、適切な  
O&Mの実施が義務化さ

れることで、発電  
事業者が嫌でもO  
&Mをやらざるを  
得なくなりませ  
す。

昨年は徐々に発  
電事業者にもO&  
Mの必要性が認識  
され始めた年でし  
た。

O&M専門会社  
である当社にも、  
多くの問い合わせを頂き  
ました。とはいえ、発電

事業者の8割以上は、ま  
だその必要性を認識して  
いないと言っても良いで

しょう。

改正FIT法の施行を  
契機に、その層が動き始  
めます。

業界としては、「適切  
なO&Mは発電事業者の  
ためであり、大きな損失  
を防ぐのに必要なこと」  
と、しっかりと啓蒙し続  
ける必要があります。

法律で強制されるから  
仕方ない、というネガテ  
ィブな捉え方ですと、

【適切なO&M】ではな  
く、【単に安いだけの低  
品質なO&M】が選ばれ  
かねません。

を追求できない、「不具  
合の対処策が分からない」など、スキル不足も  
主要要因となります。

残念ながらO&M業者  
のスキルには、多きなレ  
ベル差があり、単に安い  
だけのところでは、結果  
的に安物買いの銭失いとな  
り、そのような業者が  
跋扈すると業界全体の信  
頼を損ねます。

O&Mは、PV100  
年構想の観点からも、着  
実に根付かせなければな  
りません。

太陽光発電という無尽  
蔵の基幹電源を、将来の  
子供たち世代への贈り物  
とするために、微力なが  
らO&M業界の発展に貢  
献して参ります。

者や、「不具合を発見で  
きなない」、「不具合の原因  
をお願ひ申し上げます。

